

2

川口さんの学級では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

【資料】家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

(国立オリンピック記念青少年総合センター

「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

司会 ここからは、川口さんたちが集めた【資料】をもとに

して、「家の中のそうじや整とん」について話し合います。【資料】を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口 平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整とんはむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山 確かに、平成十六年の「いつもしている」は十五％しかいません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七％もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

司会

今、二人は、平成十六年の割合から考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

村田

わたしは、平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなります。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

あなたの発表

ア

〽 (話し合いが続く) 〽

一 話し合いで出された意見を次の の中にある二つに分けます。「川口・松山・村田」の三人は、それぞれA・Bのどちらの意見になりますか。 の中に、それぞれAかBのどちらかふさわしいほうを選んで書きましよう。

A 最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんによく取り組んでいるという意見

B 最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんにあまり取り組んでいないという意見

※解答は、解答用紙に書きましよう。

川口

松山

村田

